

古いファイルの自動削除機能

[SDロガー4]

2020年6月20日 (X520025) (株)データ・テクノ

■古いファイルの自動削除機能

電源投入時に古いファイルの自動削除を行なう機能です。

古いファイルを削除することで、容量や、ファイル数がいっぱいになって、ロギングできなくなることを防げます。

電源投入時にファイルが『ある個数』以上ある場合、『ある個数』になるまで、古いファイルを削除します。

古いファイルの自動削除を行なうか、行わないか、行なう場合の『ある個数』はコンフィギュレーション設定で、設定できます。

自動削除のカウントと、削除の対象は、デフォルトでは拡張子が「LOG」のファイルです。

ログファイルの拡張子が設定で変更されている場合は、その拡張子を持つファイルが対象となります。

●ファイル属性について

下記の属性のファイルは、カウントの対象となりますが、削除の対象とはなりません。

- ・読み出し専用ファイル
- ・隠しファイル
- ・システムファイル
- ・ボリュームラベル
- ・ディレクトリエントリ

●ログファイル名について

ロガーでは元々ログファイル名がサポートされていないので、ログファイル名のファイルが存在すると完全な動作は出来ません。

「ログファイル名のためのエントリ」はカウントの対象にも、削除の対象にもなりません。しかしファイル本体は短い名前ですら判断され、カウントされ、削除されることもあります。

この場合、「ログファイル名のためのエントリ」は残り、表面的には見えないゴミがカード内に残ることになりますが、基本的な動作に影響を与えることはありません。

また、この状況では、**Windows** のチェックディスクで問題が報告さ、修復することが出来ます。